

2011全国縦断GHPフォーラム仙台会場

主催：GHPコンソーシアム 後援：(株)石油化学新聞社（プロパン・ブタンニュース）

「がんばろう東北！GHPフォーラム仙台」

◆開催のご案内◆

東日本大震災から半年が過ぎた今も8万人を越える避難者が不自由な生活を余儀なくされている。また、福島原発事故にともなう電力供給不足は東北・東京電力管内から全国へ波及した。野田首相は9月13日の所信表明演説で停止中の原子力発電所について「安全性を確認し周辺住民の理解を得て再稼動を目指す」としたが、「中長期的には原発の依存度を引き下げていく」と表明した。原発・電力偏重のエネルギー政策からエネルギーベストミックスへの流れは明らかである。資源エネルギー庁も需給対策でガスの活用を打ち出し、空調設備においてガス空調の活用によるピークカットを図るとしている。今後は節電対策としてのGHP、災害対策としての分散型エネルギーの重要性が増してくる。

GHPフォーラム仙台会場では、東北復興をテーマに、ガス体エネルギーのこれからの役割を検証する。

GHPコンソーシアム FAX03 (5833) 8849

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-4-10 アイセ岩本町ビル TEL 03 (5833) 8848

●開催日時

日時＝2011年10月17日（月） 開講 午後1時～午後5時予定
（受付開始 午後12時30分）
会場＝カメイ株式会社9階ホール（宮城県仙台市青葉区国分町3-1-18）

●講演テーマと講師

- ▽「東北復興への取り組みとGHPの役割」
カメイ株式会社
- ▽「節電の時代にLPガスに出来ること」
GHPコンソーシアム普及促進部会長 細谷祥三氏
- ▽「GHPとバルク供給システムが避難生活の支えに」
学校法人郡山開成学園 管材部長 緑川洋一氏
- ▽「GHPメーカーの商品戦略」
節電対策としてのGHPと超高効率GHPエグゼア

●開催要領

- 講演・発表方式＝パワーポイント、テキスト完備
- 受講料（参加費、テキスト代・消費税等含む）
▽GHPコンソーシアム会員会社＝1名5,000円
▽非会員会社＝1名10,000円
- 受講者定員＝60～70人
- お申し込み先＝GHPコンソーシアム（FAXまたは郵送）
- 支払い方法＝申し込み受付後に請求書を発送いたします。同封の振替用紙をご利用下さい。

【お申し込みについて】

- ▽FAX送信（専用03-5833-8849）又は郵送。
- ▽その他必要事項等を記入（多数参加の場合は参加人数・代表者名の記入と同時に、別途参加者名を通知願います）。
- ▽先着定員次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。
- ※ご注意／受講券は発行しません。開催当日、参加申込リストに従って午後12時30分から受付確認します。ご協力下さい。

----- キ リ ト リ 線 -----

GHPコンソーシアム事務局 行

2011全国縦断GHPフォーラム仙台会場参加申込書

平成23年 月 日(S)

会 社 名	
所 在 地	〒 電話 () FAX ()
氏 名	
所 属 部 課 名	
申込責任者(役職名)	
連 絡 事 項	